

千葉県がん対策推進計画中間評価の概要

【全体目標】

【1】がんによる死亡率を減らしていきます
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

・年齢調整死亡率81.8(2005年) > 76.6(2014年)
15.7%の減少。減少傾向ながら、目標の達成は
難しい状況にある。

【2】がん患者とその家族が、がんと向き合い
ながら、生活の質を維持向上させ、安心して
暮らせる社会を目指します

・具体的な評価指標を検討。患者体験調査に
基づくデータを活用することとし、『改善』を
目標とする。

【分野別評価】
施策の体系

1 予防・ 早期発見	(1) 予防	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントや街頭キャンペーン等を行い、生活習慣や喫煙による健康への影響及び、がん予防に関する正しい知識の普及啓発に努めている。 ・喫煙する者の割合は減少しているものの、女性の目標達成率が低い現状にあるため、引き続き街頭キャンペーン等の取組を続けていく。また、喫煙環境表示ステッカーの作成・配布等受動喫煙防止対策を推進する。 ・胃・肺・大腸がん検診受診率の当面40%は目標を達成。 ・がん検診は死亡率減少につながる施策であり、引き続き各種取組を実施していくとともに、精度管理向上に努める必要がある。 ・女性の死亡率減少のため、子宮がん、乳がんへの取組を引き続き行う。 ・引き続き、教育委員会と協力しながら、学校ががん教育を円滑に実施できるよう支援していく。
	(2) 早期発見	
	(3) 個別のがんに対する特徴的な予防・早期発見	
	(4) がんに関する教育	
2 医療	(1) がん医療	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県がん診療連携協力病院の指定要件見直しを実施。今後、新要件の充足状況や関係機関の意見等により、必要に応じてあり方を検討する。 ・引き続き、がん診療連携拠点病院を中心に化学療法における多職種によるチーム医療の推進、診療体制の充実を図る。また、がん医療を担う人材の育成、口腔ケアに関する医科歯科連携体制の構築についても、がん診療連携拠点病院を中心に取組を継続する。 ・引き続き、緩和ケアに関する情報発信や緩和ケア研修会の充実を図るとともに、拠点病院等の緩和ケアチームの質的評価についての検討及び、地域の医療機関との連携体制の整備を行っていく。また、在宅で終末期を過ごすことに関する情報提供及び意識の醸成を図っていく必要がある。 ・実態調査により得られた課題、ニーズに対し、ピアサポート相談の実現や晩期合併症を含めた長期フォローアップ体制の整備、希少がんの患者団体やホットラインの周知等、具体的取組を進める。
	(2) 緩和ケアの推進	
	(3) 小児がん等の対策	
3 患者相談の・生活情報支援提供・	(1) 相談支援・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ちばがんナビやサポートブックによる相談支援センターの広報を行うとともに、相談員のスキルアップに資する研修等の周知、開催を継続する。また、患者会との協働による新たな相談支援体制について検討を開始する。 ・食生活の面から患者を支える各病院の取組について、情報交換等を行い、取組の拡大、充実を図る。 ・就労に関する実態調査結果を基に作成した情報提供書やリーフレットの活用を促し、がん患者の治療と仕事の両立支援の向上を目指す。
	(2) 患者の生活支援	
4 研究等	(1) 研究	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各研究分野での取組を継続。 ・がん登録等の推進に関する法律により、全国がん登録が開始され、がん登録情報は国で一元管理されることとなった。事業を円滑に推進するため、取組を継続。
	(2) がん登録の推進及び活用	

各施策において、一定の進捗が得られているが、目標達成に向けて、引き続き推進が必要。